

平成29年度

かごしま市予算のすがた



目次

- 29年度の鹿児島市当初予算額 ……P1
- 当初予算額の内訳 ……P2
- 一般会計当初予算額の内訳 ……P2
- 29年度の主な事業 ……P5

予算って何のこと？

皆さんのご家庭では、給与やアルバイトなどいくらもらえるか、また食費や教育費、電気代などがどれくらいかかるかなどを計算しながら、家計をやりくりしていることと思います。また、お子さんであれば、おこづかいやお年玉の使い方を、いろいろと考えるでしょう。国や地方自治体も同じように、1年間の収入と支出を計算して、どのような仕事にいくらかお金を使うかを決めています。この入ってくるお金(歳入)と出ていくお金(歳出)の計画を「予算」といいます。

「予算」を見ると、鹿児島市の家計事情や仕事の中身が分かる仕組みになっています。市民の皆さんに鹿児島市の予算を知っていただくことは、市民の皆さんが主人公であるまちづくりの出発点です。



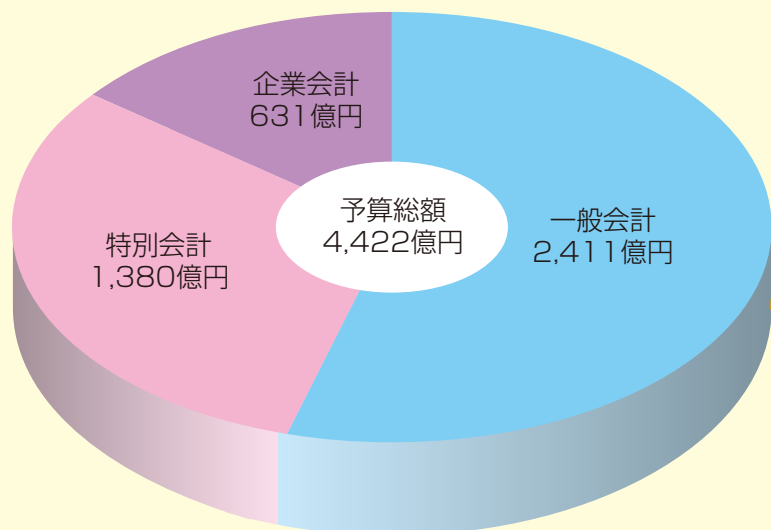
予算はどうやって決めるの？

福祉、教育、ごみ処理、道路整備など、市役所がやらなければならない仕事はたくさんありますが、皆さんによりよい生活を送っていただくために何をしたら良いか、市役所の各部署で検討し、市民の皆さんの意見や要望をできる限り反映させて予算の素案を作成します。市長は、その素案をもとに、使えるお金には限りがある中で総合的な判断を加えて予算案をまとめて市議会に提案します。

市民を代表する市議会は予算案をいろいろな面から審議したうえで、議会の議決により予算を決めます。

29年度の鹿児島市当初予算額

「一般会計」では、2,411億円、「特別会計」、「企業会計」を合わせると4,422億円になります。



会計とは？

特定の収入(国民健康保険税、介護保険料など)がある事業については、お金の出し入れを分かりやすくするために、お財布を分けて管理する必要があります。このお財布のことを「会計」といいます。大きく分けて3つの会計があります。

一般会計

市の会計の基本であり、福祉、医療、教育や道路・公園の整備など基本的な行政サービスを行う会計です。主な収入は、市税や国・県支出金などです。(2ページ参照)

特別会計

特定目的のための会計で、国民健康保険税や介護保険料など特定収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を管理します。鹿児島市には8の特別会計があります。

企業会計

地方公営企業(市立病院、交通局、水道局、船舶局)の会計。鹿児島市には6の企業会計があります。民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営しています。

鹿児島市の特別会計

土地区画整理事業清算	国民健康保険事業
中央卸売市場	介護保険
地域下水道事業	後期高齢者医療
桜島観光施設	母子父子寡婦福祉資金貸付事業

鹿児島市の企業会計

病院事業	工業用水道事業
交通事業	公共下水道事業
水道事業	船舶事業

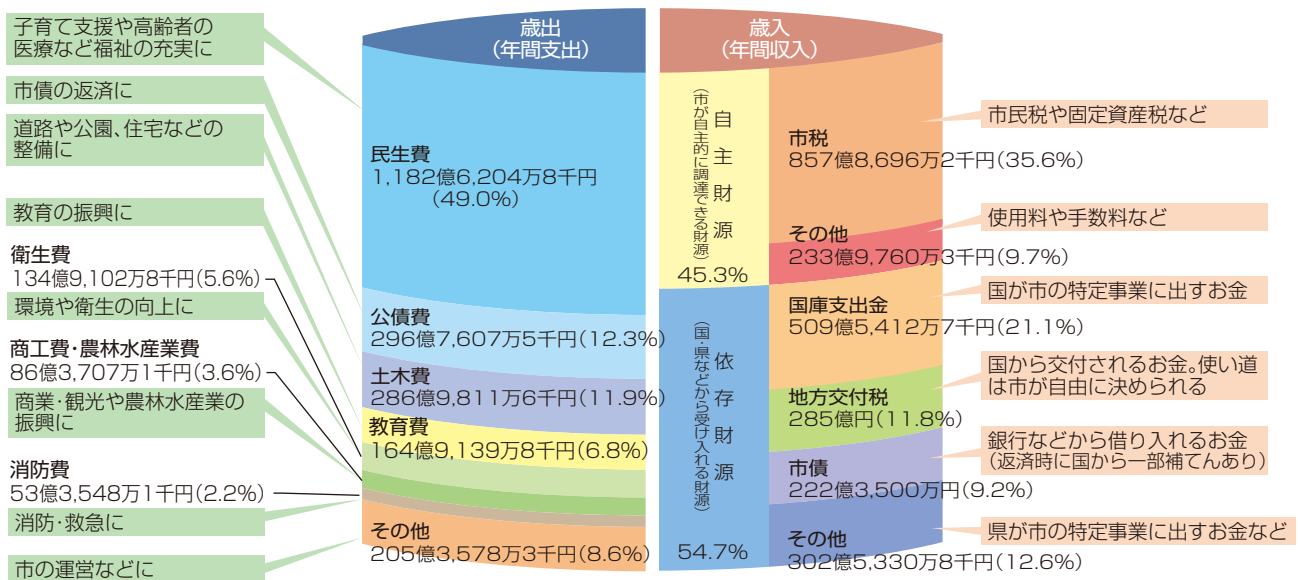
当初予算額の内訳

当初予算総額4,422億円

会計名	予算額	前年度との比較
一般会計	2,411億2,700万円	0.4%減
特別会計	1,380億100万円	0.6%減
土地区画整理事業清算特別会計	1億3,410万円	838,025.0%増
中央卸売市場特別会計	19億2,110万円	53.1%減
地域下水道事業特別会計	6,460万円	1.3%増
桜島観光施設特別会計	9,190万円	19.1%減
国民健康保険事業特別会計	803億270万円	1.0%減
介護保険特別会計	480億1,900万円	3.8%増
後期高齢者医療特別会計	71億2,480万円	1.2%増
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	3億4,280万円	91.6%増
企業会計	630億6,700万円	8.1%減
病院事業特別会計	217億200万円	0.5%増
交通事業特別会計	63億8,000万円	49.8%減
水道事業特別会計	187億8,540万円	1.8%増
工業用水道事業特別会計	670万円	10.7%減
公共下水道事業特別会計	120億6,190万円	6.2%減
船舶事業特別会計	41億3,100万円	38.2%増
合計	4,421億9,500万円	1.7%減

一般会計当初予算額の内訳

一般会計当初予算額2,411億円



歳出のポイント

歳出で最も多いのは、子育て支援や生活保護費などに使われる民生費の約1,183億円で、一般会計当初予算全体に占める割合は約49%、次に多いのは、市債の返済などに使われる公債費の約297億円で、約12%となっています。

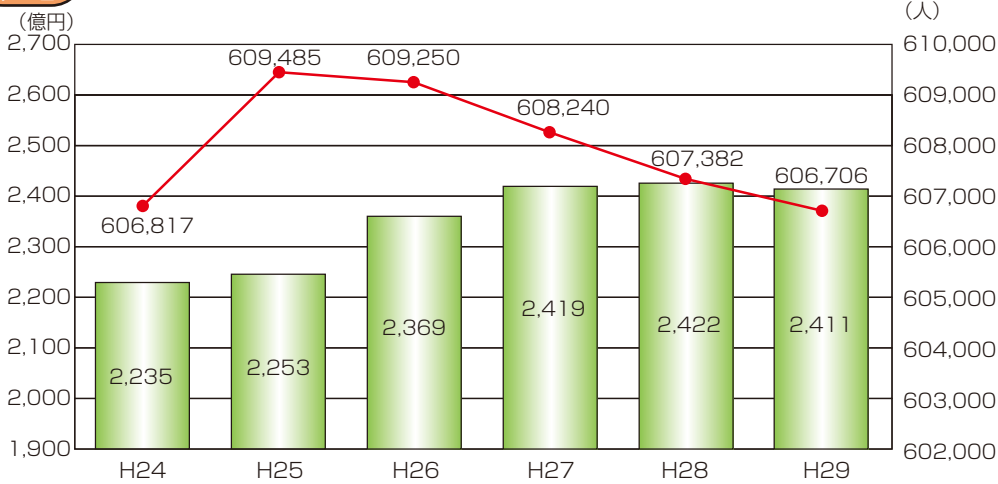
社会保障関係経費などに引き続き多額の費用が見込まれ、財政状況は厳しさを増していますが、「人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま」の実現に向けて、『次代を見据えて“全力投球！・チャレンジ！”する予算』となっています。

歳入のポイント

歳入は、地方交付税や国庫支出金は減額になりましたが、市税が固定資産税の増などにより約6億円の増額になりました。



①一般会計当初予算額と人口の推移



財源の確保に努め、健全財政を維持しながら「人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま」の実現に向けて、『次代を見据えて“全力投球！・チャレンジ！”する予算』としました。



②市民1人当たりの予算の使い道は？

一般会計当初予算額2,411億円の使い道を市民1人当たりに換算してみました。

市民1人当たりの予算約40万円の使い道

※人口606,706人で計算(29年1月1日現在)

○環境や衛生の向上に約2万2千円



○市債の返済に約5万円



○商業・観光・農林水産業の振興に約1万4千円



○子育て支援や高齢者の医療など福祉の充実に約19万5千円



○市の運営などに約3万5千円



○消防・救急に約9千円



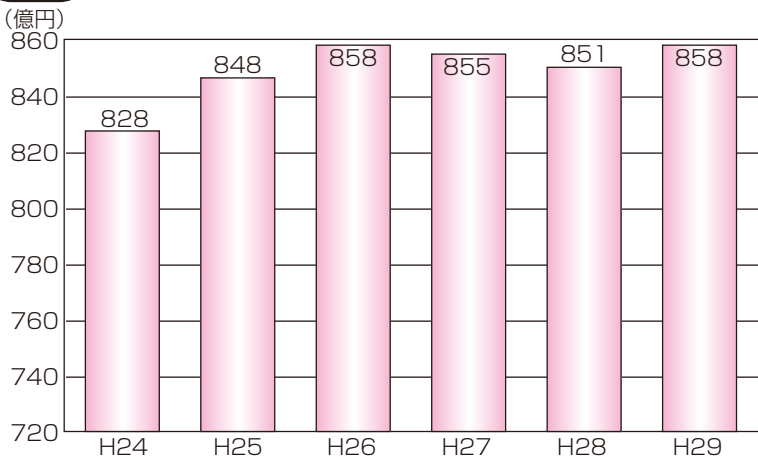
○道路や公園、住宅などの整備に約4万8千円



○教育の振興に約2万7千円



③市税の推移



※27年度までは決算額、28及び29年度は当初予算額

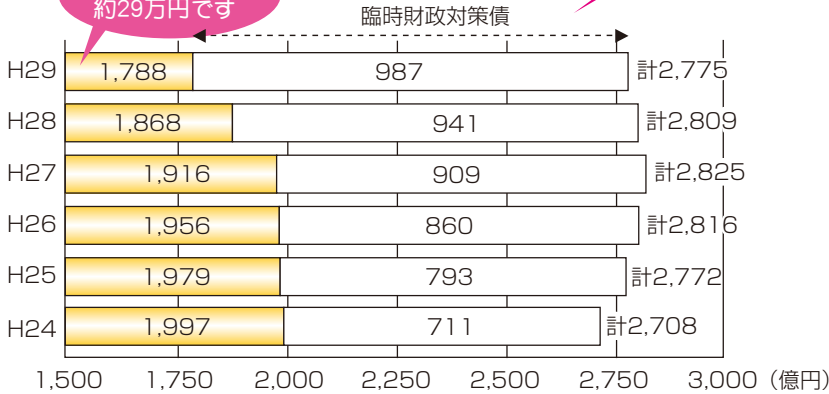
市民1人当たり約14万円です

市税には主に市民税や固定資産税、都市計画税などがあります。皆さんに納めていただいた市税は歳入の約36%を占めており、鹿児島市のまちづくりを行うための最も重要な財源となっています。市税は必要な行政サービスに大切に使われています。



④市債残高の推移

市民1人当たり
約29万円です



- (1) グラフの右部分は実質的な地方交付税である臨時財政対策債です。
- (2) 左部分は、臨時財政対策債を除いた残高です。
- (3) 26年度までは同意ベースの決算額、27年度は決算見込額、28及び29年度は当初予算時の見込額です。

本来は交付税として国からもらえるお金を国の財政上の都合で市が借り入れているものです。返済は全て国の負担です。

どうして借金しなければならないの？

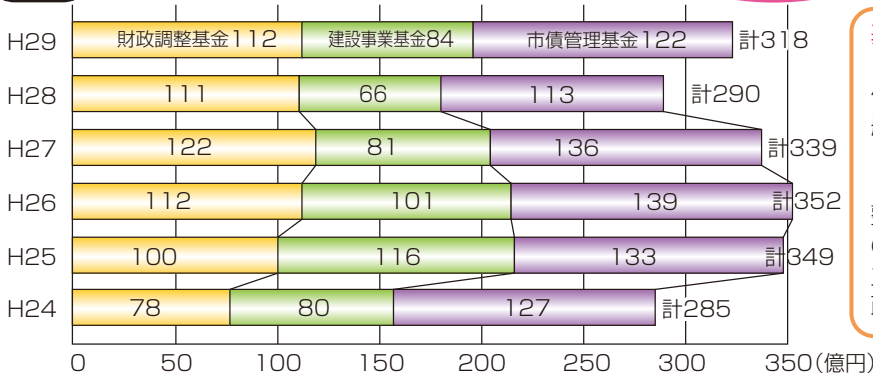
市債は借金ですから、無いに越したことはありません。でも、公園や道路、学校など公共施設の整備に必要なお金を1年間の予算でまかなくなってしまったら、その年は他の仕事が出来なくなってしまいます。

公共施設はこれから長い間、たくさんの方が利用する訳ですから、将来の市民の皆さんにも公平に費用を負担していただくために、市債を発行しています。ただし、借入が多くなればなるほど返済が大変になりますから、鹿児島市は計画的な市債の発行に努めています。また、返済する時に国から交付税が配分される市債の借入を優先するなど、本市の負担を減らすことができるよう努めています。



⑤基金残高の推移

貯金は大事に
使わないと...



- (1) グラフの左部分は財政調整基金、中央部分は建設事業基金、右部分は市債管理基金の残高です。
- (2) 27年度までは決算額、28及び29年度は当初予算時の見込額です。

基金って何だろう？

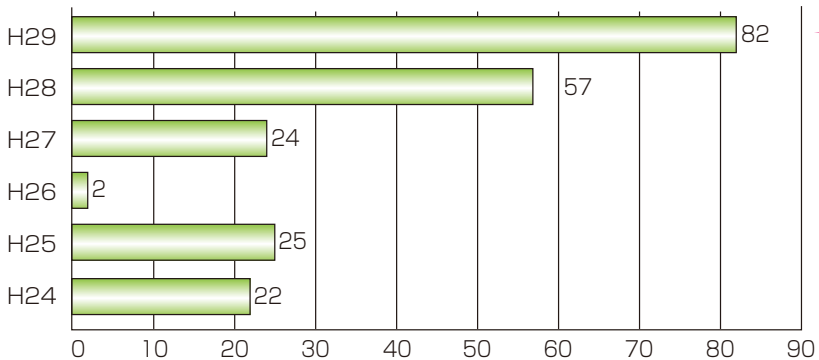
鹿児島市には、土地や建物、物品や債券などさまざまな財産のほかに、一般家庭の貯金に相当するさまざまな「基金」があります。

市の貯金である基金のうち、財政調整基金、建設事業基金、市債管理基金の3基金については、必要に応じて積立てや取崩しを行いながら、健全な財政運営の維持に努めています。



⑥プライマリーバランス(基礎的財政収支)の推移

29年度は約82億円の黒字です



各年度の当初予算におけるプライマリーバランスです。(実質的な地方交付税である臨時財政対策債は、借金・返済から除いています。)

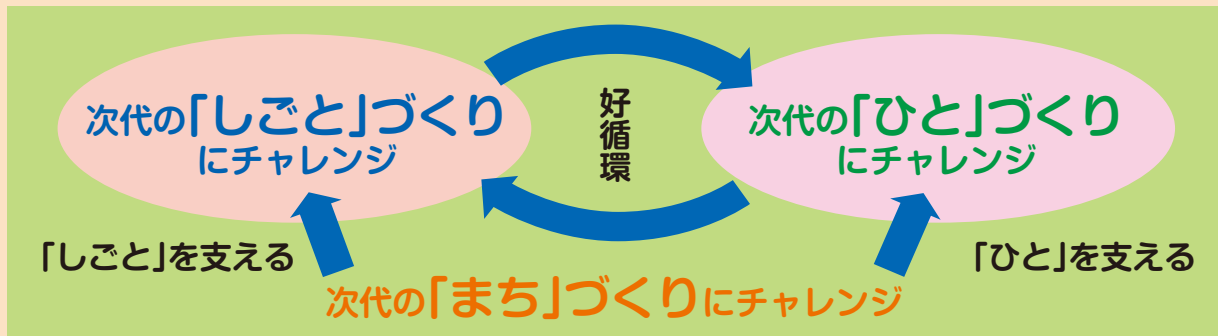
プライマリーバランスって何だろう？

借金(市債)を除いた歳入と返済(元金)を除いた歳出を比較したもので、歳入のほうが多ければ黒字となり、財政が健全であることを示します。

借金の累積を防ぐためには、このプライマリーバランスの黒字が必要で、鹿児島市は厳しい財政状況の中、黒字を維持し続けています。

29年度の主な事業

次代を見据えて
“全力投球!・チャレンジ!”する予算



彩り豊かな明るい「次の時代」

人・まち・みどり みんなで創る “豊かさ”実感都市・かごしま

1 人が行き交う魅力とにぎわいあふれるまち

2 健やかに暮らせる安全で安心なまち

3 水と緑が輝く人と地球にやさしいまち

4 地域産業で若者や女性が活躍できるまち

5 学ぶよここびが広がる誇りあるまち

6 市民生活を支える機能性の高い快適なまち

7 市民と行政が拓く協働と連携のまち

1 人が行き交う魅力とにぎわいあふれるまち

■豊かな地域資源を生かした鹿児島オリジナルの魅力の向上

- 大河ドラマ「西郷どん」プロジェクト推進事業負担金 (1億3,900万円)
- 明治維新150周年事業 (1,664万3千円)
- 路面電車観光路線検討事業 (350万円)



■スポーツで人が行き交い、盛り上がるまちづくり

- サッカー等スタジアム整備検討事業 (168万6千円)



- ラグビーワールドカップ2019(TM) 公認チームキャンプ地誘致事業 (34万8千円)

- 東京オリンピック・パラリンピック 事前合宿誘致事業 (304万2千円)

■観光客の受入体制や国内外との交流体制の強化

- 広域連携強化事業 (327万1千円)
- 観光客周遊性向上検証事業 (1,002万2千円)
- グリーン・ツーリズム推進事業 (834万6千円)



2 健やかに暮らせる安全で安心なまち

■安心して結婚・出産・子育てができる環境づくり

- 男性の育児参加ムーブメント推進会議開催事業 (83万9千円)
- 子どもの未来応援事業 (522万円)
- 親子つどいの広場運営事業 (1億5,247万1千円)
- 出会い・ふれあい企業対抗運動会開催事業 (619万1千円)



■高齢者が元気に生き生きと暮らせるまちづくり

- 地域リハビリテーション活動支援事業 (646万円)



- 介護予防・生活支援サービス(訪問型サービス事業、通所型サービス事業等) (8億3,867万7千円)

■障害のある方へのきめ細かな福祉の充実

- 地域生活支援拠点事業 (692万4千円)

■安全・安心に暮らせる、災害に強い強靱なまちづくり

- 災害対策本部機能強化事業 (6,205万8千円)
- 避難施設案内標識等リファイン事業 (711万円)
- 街頭防犯カメラ設置費補助事業 (309万円)

■健康づくりや保健予防の取組の充実

- 特定健康診査・特定保健指導事業 (3億503万2千円)



3 水と緑が輝く人と地球にやさしいまち

■再生可能エネルギーや省エネルギー技術の利用・導入促進

- 新南部清掃工場（ごみ焼却施設・バイオガス施設）整備・運営事業（2,207万3千円）
- ゼロエネルギー住宅等整備促進事業補助金（7,482万2千円）
- 木質バイオマス熱導入促進事業（110万8千円）



■環境にやさしいまちづくり

- コミュニティサイクル利用促進事業（500万円）
- もやせないごみ資源化事業（741万9千円）
- 花と緑が彩る、うるおいのあるまちづくり
 - 市立病院跡地緑地整備事業（40億1,112万3千円）
 - 武岡公園整備事業（5,350万円）



4 地域産業で若者や女性が活躍できるまち

■若者や女性が安心して働き、活躍できる雇用の場づくり

- かごしまで働きたい若者応援会議（仮称）運営事業（32万4千円）
- 働きたい女性の就活応援事業（136万7千円）
- 雇用を生み出す地域産業の魅力・競争力の強化
 - クリエイティブ産業創出拠点整備事業（826万4千円）
 - 街なかりノベーション推進事業（860万4千円）



- クリエイターズオー디션開催事業（168万1千円）
- 豊かな自然を守り、育む農林水産業の活性化
 - 遊休農地活用推進事業（521万4千円）
 - 赤水・生見漁港機能保全事業（1,684万1千円）
 - かごしま茶産地力向上条件整備事業補助金（3億1,980万2千円）



5 学ぶよろこびが広がる誇りあるまち

■生きる力を育み、学びを支援する教育環境の充実

- おやじの会活動支援事業（408万円）
- 校舎建替事業（1,300万円）
- 市民文化・スポーツの振興
 - パークゴルフ場整備事業（1,500万円）
 - 国民体育大会等準備事業（996万円）



- 体育施設等国体関連事業（5,123万3千円）
- 男女共同参画社会の推進
 - 女性活躍推進事業（116万2千円）
 - 女性活躍アドバイザー配置事業（221万円）



6 市民生活を支える機能性の高い快適なまち

■市街地や地域拠点の新たな魅力づくり

- 中央町19・20番街区市街地再開発事業（2億4,403万7千円）
- 千日町1・4番街区市街地再開発事業（2億5,774万6千円）



- 鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業（4億1,125万2千円）
- 快適便利な住環境・交通環境づくり
 - 空家活用アドバイザー派遣事業（20万円）
 - 団地再生推進事業（24万8千円）



7 市民と行政が拓く協働と連携のまち

■協働と連携によるまちづくり

- ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略策定事業（1,520万円）
- コミュニティビジョン推進事業（1億6,875万3千円）
- 大学との連携推進事業（120万4千円）
- 市政広報パワーアップ事業（332万3千円）



■時代に合った行政運営と、将来を見据えた健全な財政運営

- 中核市サミット開催市負担金（750万円）
- 公文書管理事業（1,387万3千円）
- 国民体育大会従事者・民間企業経験者の採用（199万2千円）

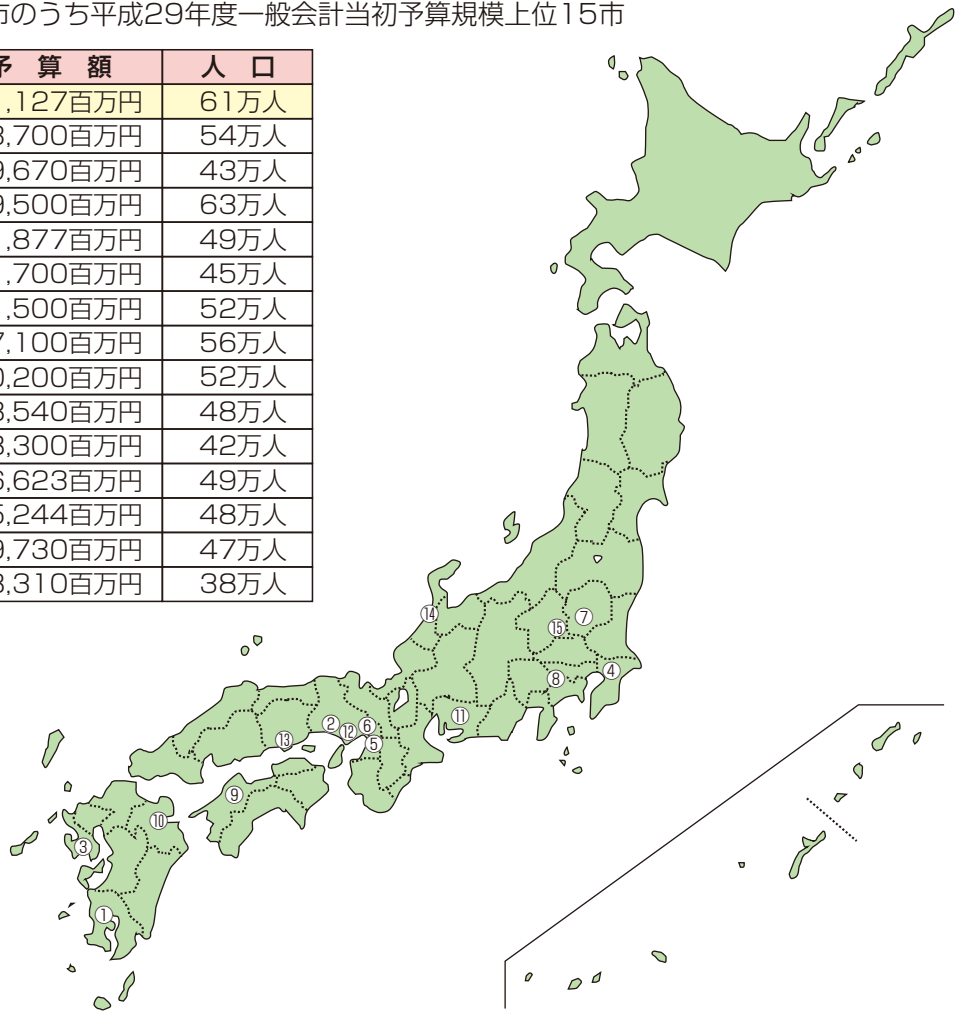




⑦鹿児島市の予算を他の中核市と比べると

中核市48市のうち平成29年度一般会計当初予算規模上位15市

	都市名	予算額	人口
①	鹿児島市	241,127百万円	61万人
②	姫路市	213,700百万円	54万人
③	長崎市	209,670百万円	43万人
④	船橋市	209,500百万円	63万人
⑤	東大阪市	201,877百万円	49万人
⑥	尼崎市	201,700百万円	45万人
⑦	宇都宮市	201,500百万円	52万人
⑧	八王子市	197,100百万円	56万人
⑨	松山市	180,200百万円	52万人
⑩	大分市	178,540百万円	48万人
⑪	豊田市	178,300百万円	42万人
⑫	西宮市	176,623百万円	49万人
⑬	倉敷市	175,244百万円	48万人
⑭	金沢市	169,730百万円	47万人
⑮	高崎市	168,310百万円	38万人



～『かごしま市予算のすがた』の作成に当たって～

「予算」という言葉は知っているけど、その内容については、専門的で分かりにくいという印象を持たれている市民の皆さんも多いのではないのでしょうか。

「市民との協働のまちづくり」を進めていくためには、市民の皆さんの生活に深く関わっている鹿児島市の予算を知っていただくことが大切です。

地方財政を取り巻く環境がますます厳しさを増す中で、「予算」のことを少しでも身近に感じていただくため、分かりやすい表現を心がけた「かごしま市予算のすがた」を作成しました。

この冊子によって、市民の皆さんが鹿児島市の予算に興味を持っていただき、少しでも身近に感じていただければ幸いです。

★鹿児島市の予算や財政に関する情報は市ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/> 【トップページ】⇒【市政情報】⇒【財政状況】からアクセスしてください。

平成29年度 かごしま市予算のすがた
編集・発行／鹿児島市財政課
〒892-8677 鹿児島市山下町11-1 電話099-216-1155